

富津市立保育所自己評価書

(中央保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和3年4月～令和4年2月

令和4年3月

| 項目 | 内 容 | 評価 A. B. C. D | 評価の根拠・改善策等 |
|----------|--|------------------|---|
| 生命の保持・健康 | <p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p> | A | <p>家庭との連携を密に行い、嘱託医とは情報共有し、健康や発達について指導を受け、適切な対応ができるようにしている。</p> <p>風邪症状の流行がみられた時は、少人数保育など感染拡大防止に努めた。職員全体で共通認識を深め、衛生的で安全な保育環境を整備できるようにしている。</p> |
| | <p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p> | A | <p>1対1での関り、コミュニケーションを大切にし、一人ひとりの子どもがのびのびと過ごせる環境づくりや見とおしをもって安定して過ごせるように取り組んでいる。</p> |
| | <p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p> | A | <p>自分でやろうとする気持ちを大切にし、できない時は援助をしたり見守ったりし、子どもの意欲に繋がっている。</p> |
| 人間関係 | <p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p> | B | <p>子どもたちが安心して過ごせるような環境を整え、関りができたか振りかえる機会を持っている。</p> |
| | <p>生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。</p> | A | <p>生活の中で友だちや職員などとの関りを大切にし、関心が広がるようにしている。身近な人</p> |

| | | |
|----|---|---|
| | | への興味、大きい子への憧れの気持ちを持ち過ごしている。 |
| | 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。 | A 相手の話を聞くことの大切さ、伝える事の大切さを知らせ、また保育士がそのように対応することで経験し繋げられるようにしている。 |
| | 生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。 | A ごっこ遊びや集団遊びをとおして、ルールを守る事の大切さを知らせたり、体験させたりしている。 |
| 環境 | 安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。 | A 子どもたちが自分でやってみようとする気持ちを受けとめ、励ましたり援助したりしている。子どもの五感に働きかける活動を取り入れ、遊びこめる時間や場所の確保、安全に配慮している。 |
| | 生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。 | A 匂いや色、形、手触りなど五感を使い様々な発見ができるようなきっかけを作っている。 |
| | 自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。 | A 子どもの発見を受け止め、自然への興味関心が持てるようにしている。不思議に思ったことを調べたり、投げかけたりしている。 |
| | 日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。 | A 遊びや生活のなかで文字や数量などに自然と親しめるような |

| | | | |
|----|--|---|--|
| | | | 関りを持った。昆虫から図形に関心を持ち、物の数、量にもふれる機会を持っている。 |
| 言葉 | 保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。 | A | 子どもの声に気づき、「伝えよう」と思えるような関りを大切にしている。共感したり気持ちを代弁したりし、思いを言葉で伝えられるよう援助している。 |
| | 絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。 | A | 絵本や紙芝居、手遊び等に親しんで過ごせるよう取り入れて関わっている。絵本の世界を模倣し、ことばのやりとりを楽しんでいる。 |
| | 保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。 | A | 子どもたちの何気ない会話も大切にし、聞いてもらう経験をとおり相手の話も聞けるように関わっている。 |
| | 生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。 | A | 職員が手本となりその都度、状況にあわせた挨拶や適切な言葉を知らせている。 |
| 表現 | 水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。 | A | 子どもたちの興味や反応に合わせてその時季ならではの遊びをダイナミックに取り入れている。 |
| | 音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。 | A | 体操やリズム等を行い周囲に認められながら自信を持って取り組めるよう、楽しめるようにしている。 |

| | | | |
|---------|---|---|---|
| | <p>生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。</p> | A | <p>子どもたちの発見、気付きに共感しそこから新たな楽しみや発見が持てるように一緒に考えたり参加したりしている。製作や遊びをとおり様々な材料を活用し木の実や葉っぱなど自然物で遊んでいる。</p> |
| | <p>生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。</p> | A | <p>同じ空間を共有し、肌でその状況を感じ、言葉でのやり取りとおして気持ちが伝わるように援助、仲立ちをしている。一人の発見をみんなで共有し一緒に喜んだり楽しんだりする体験をしている。</p> |
| 保護者への支援 | <p>一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている</p> | A | <p>連絡帳や送迎時に子どもの様子を伝え合っている。個別面談やクラス懇談会を行い、家庭の様子や悩みを聞いたりし保護者が安心して預けられるよう配慮した。</p> |
| | <p>家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。</p> | A | <p>保育に活かせるよう保護者と情報交換したことは、日誌や児童票に記録している。</p> |
| | <p>保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。</p> | A | <p>全職員が保護者の相談や意見を丁寧に聴き、共通理解を図り速やかに対応している。</p> |
| 行事 | <p>行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。</p> | A | <p>ねらいに沿った計画を立て、子どもが興味や関心を持って取</p> |

| | | |
|-----|-----------------------------|---|
| | | り組み、楽しめる企画をしている。 |
| | 保護者の願いや意見を取り入れている。 | B 要望に対しては感染症対策や実施時間などを工夫したうえで、できる限りの事を行った。実施できなかった行事については、保育を知らせる工夫を行った。 |
| | 計画・実施・評価・改善の体制をとっている | A 行事ごとに企画書を作成し、実施後には反省点・改善点などを探り、次回に活かしている。 |
| その他 | 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。 | A 守秘義務やプライバシー保護を全職員が遵守している。個人情報に関する文書は場所を決め保管している。 |
| | 園内研修を実施している。 | A 「子どもが安心してすごせる環境の充実」を年間テーマとして研修を実施。保育を振り返ったり、ロールプレイを通して相手の気持ちに気づいたりしながら、保育環境づくりについて職員間で学んだ。 |
| | 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。 | A 保護者の目にとまりやすい場所にドキュメンテーションや子ども達の作品を掲示し、活動内容が分かりやすいように工夫している。 |